

2020年 4月 29日

助成事業実施報告書

団体名 チャイルドラインたちかわ

代表者・役職名 氏名 代表 山中ゆう子



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子どもの心に寄り添って話を聴ける大人・電話の受け手を増やす

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2003年12月 立川市の子どもの権利を考える市民委員会主催の講演「子どもの権利って何？」を聴いた有志が直接子どもの声を聴きたいと「チャイルドラインたちかわ」準備会を立ち上げ、2006年より毎週日曜日の常設開催で子どもからの電話を受けています。現在の会員数は25名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2018年度は、児童虐待が大きくクローズアップされました。子どものSOSに真剣に向き合える大人が回りにいたら、防げる事ができたのではないかと悔やまれます。核家族化や地域間のつながりの希薄さが親や保護者を通じてしか大人や社会と交われなくなっている昨今、子どもが持つ不安や悩み、嬉しいことなど「気持ちに寄り添って聴き、一緒に考えてくれる大人」がいることが必要です。話したい時にいつでも話せるツールの一つとして無料で話せる電話やインターネットでのオンラインが子どもたちに求められています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2019年度は実際に子どもの声を受け止める受け手の養成講座を開催しました。講座内容によっては、市民公開講座として電話を通して見えてくる子どもの状況や課題を市民と共に考える機会としました。①「今、子どもたちは～チャイルドラインの現場から～」②(杉並・中野と共催)「HSC 敏感な子どもたち」③「子どもの生きる力を育むために～子どもの権利を知る!～」④「子どもとインターネットトラブル～知っておきたい対応とは～」⑤「思春期の性・男子の性～電話相談の受け手として知っておきたいこと～」⑥「J-POP STORY～子ども・若者の声に耳を傾ける～」⑦「子どもの“ねっこ”はどう育つ?」⑧「コミュニケーションスキル～子どもの電話の受け方～」⑨「電話を受ける～ロールプレイ 子ども時代に立ち返る～」⑩「研修を振り返って」「チャイルドラインのしくみ」

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

2018年度の児童虐待の状況から、「何とか子どもたちを救うことができないか」という思いを持った受講者が集まってくれました。成果として、5名が新しい受け手になりました。また、電話から見えてくる子どもの状況や課題を公開講座などで市民に情報発信することができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

①受け手の確保②資金の確保③開設場所の確保は、これからも課題としてあります。2019年度は、大学への呼びかけをしましたが、あまり成果が上がりませんでした。アプローチの仕方には、まだ検討の余地があります。毎年、年間の活動の報告書を作成していますので、それをもって、賛同者・協力者へ「継続する寄付」の工夫をしていきたいと思いをします。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

子どもの電話の受け手ボランティア募集!

2019年度 チャイルドライン たちかわ新規受け手養成講座



*** ひみつは守るよ**
*** 名前はいわなくてもいい**
*** 切りなくなったら電話を切っていい**
*** どんなことでも一緒に考える**



「チャイルドライン」は18歳までの子どもたちのための子ども専用電話です。
 私たちは子どもたちと4つの約束をして子どもの声に耳を傾けています。
 チャイルドラインたちかわでは新たな受け手を募集します。
 子どもの問題に関心をお持ちの方、私たちと一緒に活動してみませんか?

受け手になるには、まず養成講座全10回をすべて受講していただきます。
 その後、受け手を希望する方と主催者側の意思を確認しあい、面接、入会、見学、実地研修期間を経て、子どもからの電話を受けていただくことになります。
 (注: 養成講座受講終了者が必ず受け手になれるとは限りませんが、会員としてチャイルドラインのさまざまな活動に関わっていただくことができます。)

この研修では、子どもの主体性を大切に、真摯な態度で子どもと向き合う受け手を育てたいと考えています。
 電話をかけてくる子どもたちに、自分の価値観や体験をもとにした「指導」や「指示」や「説教」をするのではなく、
 子どもの心に寄り添いながら、一緒に考えられる受け手となっていただくために、今の子どもを抱えている様々な課題を知り、コミュニケーションスキルや電話の受け方をロールプレイなどで学び合います。

- 日程** 2019年9月15日～2020年2月頃まで <全10回>
 主に日曜日、土曜日の午後を予定 ※詳細は裏面日程表を参照して下さい。
- 会場** 立川市子ども未来センター(立川市錦町3-2-26)及び早稲田大学戸山キャンパス
 ※申し込みをされた方は地図をお送りいたします。
- 募集** 2019年9月1日迄にお申し込みください。先着順で定員(20名)になり次第、募集を締め切らせていただきます。
- 受講料** 5,000円(一括で初回出席時にお納めください。一旦納入された受講料は理由に関わらず返金できませんのでご了承ください。)*市民公開講座の回はどなたでも参加できます。参加費は1回500円です。
- 申込先** 裏の応募用紙に必要事項を記入の上 042-531-5927へFAX送信、またはメールにて cl.tachikawa@gmail.com にお送りください。
 折り返し、詳細についてご連絡させていただきます。なお、受講希望者との連絡以外に個人情報を使用することはありません。

主催:チャイルドラインたちかわ ※この養成講座は真如苑 Shinjo プロジェクトの助成金を受けて開催しています。

チャイルドラインたちかわ 新規受け手養成講座日程表

*印は市民公開講座で、どなたでも参加できます。市民公開講座の参加費は1回500円です。

回数	日時	研修内容及び講師	出欠予定
第1回	9/15(日) PM1時半～3時半 未未わわ-201	*「今、子どもたちは～チャイルドラインの現場から～」 CL たちかわ代表 山中ゆう子	公開講座
第2回	9/21(土) PM 3時～5時半 早稲田大学戸山	*「HSC 敏感な子どもたち」精神科医 明橋大二さん NPO 法人子どもの権利支援センターばれっと理事長	公開講座
第3回	9/29(日) PM1 時半～3時半 未未わわ-201	*「子どもの生きる力を育てるために～子どもの権利を知る!～」 日本体育大学准教授 せたほつとサポート委員 半田勝久さん	公開講座
第4回	10/20(日) PM1 時半～3時半 未未わわ-201	*「子どもとインターネットトラブル～知っておきたい対応とは!～」 一般財団法人インターネット協会 主幹研究員 こたエールチーフスタッフ 大久保貴代さん	公開講座
第5回	10/27(日) PM1 時半～3時半 未未わわ-201	*「思春期の性・男子の性 ～電話相談の受け手として知っておきたいこと～」 日本思春期学会名誉会員 村瀬幸浩さん	公開講座
第6回	11/8(金) PM 7時～9時 未未わわ-201	*仮)「J-POP STORY～子ども・若者の声に耳を傾ける～」 白梅学園大学 子ども学科教授 長谷川俊哉さん	公開講座
第7回	12/ に予定 未未わわ-を予定	*内容調整中	公開講座
第8回	1/18(土) PM1 時半～3時半 未未わわ-201	「コミュニケーションスキル～子どもの電話の受け方～」 せたがやCL 支え手・運営委員 山本多賀子さん	非公開
第9回	1/25(土) PM1 時半～3時半 未未わわ-102	「電話を受ける～ロールプレイ 子ども時代に立ち返る～」 せたがやCL 支え手・運営委員 山本多賀子さん	非公開
第10回	2/ (日) 予定 PM1 時半～3時半 未未わわ-を予定	「研修を振り返って」CL たちかわスタッフ 「チャイルドラインのしくみ」CL たちかわ代表 山中ゆう子	非公開

※上記日程で、どうしても都合のつかない日がある場合は事前にご相談ください。
 右欄に〇×で出欠予定をお書きください。欠席が多い場合、受け手ができないこともあります。
 ☆ 応募用紙 ご記入の上、切り取らずに FAX 送信してください ☆

チャイルドライン新規受け手養成講座 申込用紙			
(ふりがな) お名前	性別 女・男・他	年齢	職業 会社員・公務員・主婦・自営業・ 教員・保育士・学生 その他()
ご住所	電話番号	FAX番号	
電話相談の経験	有り() 無し()		
ボランティアの経験	有り() 無し()		
志望の動機・理由など お書きください。			

チャイルドラインたちかわ主催 2019年度市民公開講座

子どもの生きる力を育てるために

～子どもの権利を知ろう!～

虐待の事件が後を絶たず、子どもを取り巻く問題が山積みの現代社会。
 今年は国連が「子どもの権利条約」を全会一致で採択して30年目、日本が1994年に批准し締約国になってから25年目になります。子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」など条約に掲げられた国際的な約束は守られているのでしょうか?
 半田勝久さんの明快な「子どもの権利条約」のお話を通して、地域にどんなしくみが必要か、地域のおとなができることは何かを探っていきましょう。

- 日時: 2019年9月29日(日)
 午後1時30分～3時30分
- 場所: 立川市 子ども未来センター 201&202 会議室
- 講師: 半田 勝久さん 日本体育大学准教授 せたほつとサポート委員
 *「せたほつと」とは、世田谷区に住んでいる子ども、学校や仕事で世田谷区に通っている子どもの権利侵害があったときなど、問題の解決のために子どもをサポートする「世田谷区子ども条例」に基づいて設置された第三者機関です。
- 定員: 先着30名(定員になり次第締切)
- 参加費: 500円(当日会場でお支払ください)



お名前・ご連絡先を明記し、下記いずれかの方法でお申し込みください。
 FAX: 042-531-5927 宛 メール: cl.tachikawa@gmail.com 宛
 ※いただいた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。
 ●主催: チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)
 この講座はチャイルドラインたちかわ受け手養成講座を兼ねています。

※チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となつてかける子ども専用電話です。全国40都道府県にある70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。

チャイルドラインたちかわ★2019 市民公開講座

「子どもと、インターネットトラブル」

～知っておきたい対応とは～

今や子どもたちの生活とインターネットは切り離せないものになっており、多くのトラブルが起きています。インターネットを利用している子どもたちの現状や具体的なトラブルについて、また、「こたエール」に寄せられる事例などから、私たちおとながどんな対応をしたら良いのかお話しをうかがいます。

- 日時: 2019年10月20日(日)
 午後1時30分～3時30分
- 場所: 立川市 子ども未来センター 201&202 会議室
- 講師: 大久保貴世さん
 (一般財団法人インターネット協会主幹研究員、こたエールチーフスタッフ)
- 定員: 先着30名(定員になり次第締切)
- 参加費: 500円(当日会場でお支払ください)



お名前・ご連絡先を明記し、下記いずれかの方法で10/15迄にお申し込みください。
 FAX: 042-531-5927 宛 メール: cl.tachikawa@gmail.com 宛
 ※いただいた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。
 ●主催: チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)
 この講座はチャイルドラインたちかわ受け手養成講座を兼ねています。

※チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となつてかける子ども専用電話です。全国40都道府県にある70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。

「思春期の性・男子の性」 電話相談の受け手として知っておきたいこと

思春期を迎えた男子の性は、分かっているようで分からない、理解したいけど難しい、できれば触れたくない...などさまざまな思いが入り乱れます。

ですが、本人にとっては大人へ成長する最も重要な時期。電話相談の受け手のみならず、そばにいる大人がその気持ちにどう寄り添い、理解し、対応するかが大切です。

今回は、さまざまなメディアで複雑な男子の性をわかりやすく解説、重くならない軽快な語り人気の村瀬幸浩さんを迎え、男子の性と向き合い方のポイントをお伝えします。

●日時：2019年10月27日(日) 
午後1時30分～3時30分

●場所：立川市 子ども未来センター 201&202会議室

●講師：村瀬 幸浩さん(日本思春期学会名誉会員)

●定員：先着30名(定員になり次第締切)

●参加費：500円(当日会場でお支払ください)

お名前・ご連絡先を明記し、下記いずれかの方法で10/20迄にお申し込みください。

FAX：042-531-5927宛 メール：cl.tachikawa@gmail.com 宛

※いただいた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。

●主催：チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)

この講座はチャイルドラインたちかわ受け手養成講座を兼ねています。

チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となつてかける子ども専用電話です。全国40都道府県にある70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。


「J-POP STORY」

～子ども・若者の声に耳を傾ける～

小中高生の不登校は14万4千人、15歳～39歳のひきこもりの若者は54万1千人とも言われる今、様々な生きづらさを抱え、上手く社会とつながることができない子どもや若者たちが年々増えています。私たちは、家族は、そんな若者たちとどうつながっていけば良いのでしょうか？ 心に沁みるJ-POPに乗せながら、長年にわたり若者たちの心に寄り添う活動を続けてこられた長谷川俊雄さんのお話を伺います。

●日時：2019年11月8日(金) 午後7時～9時

●場所：子ども未来センター 2階 201&202会議室

●講師：長谷川俊雄さん 白梅学園大学子ども学部教授
NPO法人つながる会(横浜)代表理事
NPO法人フリースペースたまりば(川崎)副理事長 

●定員：先着30名(定員になり次第締切)

●参加費：500円

●申し込み：お名前・ご連絡先を明記し、下記へ11/1迄にお申し込みください。

FAX：042-531-5927宛 メール：cl.tachikawa@gmail.com 宛

※いただいた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。

●主催：チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)

※この講座はチャイルドラインたちかわ受け手ボランティア養成講座を兼ねています。

チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となつてかける子ども専用電話です。全国40都道府県にある70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。

子どもの「ねっこ」は どう育つ？

～子どもの育ちに本当に必要なもの～

「子どもにとって本当の幸せとは、生まれてきて良かったという実感をもてること」という天野さん。子どもの生きる力やその能力を育むものはいったい何なの？子どもはA・K・U？ 鬼ごっこは遊びなの？ 心が折れるくらいなら、骨が折れる方がマシ？

日本で最初のチャイルドラインを世田谷で立ち上げ、プレーパークのプレーリーダーとしても多くの子どもたちと関わってきた天野さんに子どもの現状やおとなたちへのメッセージを語っていただきます。子育て中のお母さん、お父さん、そして、子どもの育ちに関わるすべての方に聞いていただきたいお話です。

●日時：2019年12月13日(金)午後7時～9時

●場所：立川市子ども未来センター 2階 201会議室

●講師：天野秀昭さん(NPO法人プレーパークせたがや理事)

●定員：先着30名 ●参加費：500円

●お申し込み：12月1日～受付開始 講座名・お名前・ご連絡先を

ご記入のうえ下記のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX：042-531-5927 チャイルドラインたちかわ宛

またはGメール：cl.tachikawa@gmail.com 宛にどうぞ

※いただいた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。

●主催：チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)

※この講座は子どもの電話を受けるボランティア養成講座(全10回)を兼ねています。

チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となつてかける子ども専用電話です。全国40都道府県にある70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。





9月15日 ①今、子どもたちは～チャイルドラインの現場から～ ①⑩は、講師 代表山中ゆう子



10月20日 ④「子どもと、インターネットトラブル～知っておきたい対応とは～」
講師 大久保貴代さん



9月21日 ②「HSC-敏感な子どもたち」
講師 明橋大二さん



10月27日 ⑤「思春期の性・男子の性 電話相談の受け手として知っておきたいこと」
講師 村瀬幸弘さん



9月29日 ③「子どもの生きる力を育むために～子どもの権利を知ろう!～」 講師 半田勝久さん



11月8日 ⑥「J-POP STORY ～子ども・若者の声に耳を傾ける～」 講師 長谷川俊雄さん



2020年1月18日 ⑧「コミュニケーションスキル～子どもの電話の受け方～」⑨「電話を受ける～ロールプレイ 子ども時代に立ち返るから」
講師 山本多賀子さん



12月13日 ⑦「子どもの”ねっこ”はどう育つ？
～子どもの育ちに本当に必要なもの～」
講師 天野秀昭さん